



みかんぐみだより

2024年6月1日
尚徳福祉会おぐら保育園



保育園に来るとお父さんお母さんと離れるのが寂しくて涙を見せてしまうこともあります。クラスや担任にも慣れて来て、朝の挨拶代わりに保育者へ向かって走り寄り抱き着いてきてくれる姿が増えました。

登園してすぐに好きな遊びを見つけて遊び出す子どもたち。自分から保育者に玩具を貸してくれる子や絵本を持ってきて膝の上に座わり、絵本を読んでとアピールする子。まだ同じ遊びを共有することは少ないものの、友だちの近くに座って似た遊びをしている姿や、並んで座って絵本を見ている姿など、少しずつ友だちや保育者と一緒にいる心地よさを感じている様です。

少しずつではありますが、言葉を発することが増えてきています。日々の中で会話することが増えていく姿に驚かされるばかりです。大好きな絵本を見たり、読み聞かせをしていく中や手遊び、歌などを通して沢山の言葉に触れ合う機会を作っています。子どもたちのして欲しい気持ち、伝えたいことをしっかりと受け止めながら、一人一人のペースで園生活を過ごしていきたいと思えます。

優しいお兄さんお姉さん

園庭やホールに行くと、お兄さんお姉さんがたくさん遊んでくれます。園庭に出る時には、靴下や靴を履かせてくれ、園庭まで手を繋いで連れて行ってくれます。園庭でも砂遊びやボール投げを一緒にして遊んでいる姿を多く見ます。兄弟児に関わらず、いろいろなクラスのお兄さんお姉さんが一緒に遊んでくれます。「お部屋に入るよ！」と声を掛けると「嫌だ」と言って断られてしまうこともあります。幼児さんたち「一緒にお部屋まで行く？」と言うと素直に「うん」と答え帰って来てくれる姿があります。テラスでは帽子と靴、靴下を脱がせてくれ、「バイバイ、また遊ぼうね！」と言葉を掛けられ嬉しそうにニコニコと手を振り、入室します。自然な形で異年齢の関わりが生まれています。異年齢とのつながりも大切にしていきたいと思っています。また、怪我や無理のない遊びを行っていくよう見守って参ります。

じぶんでやる！

衣服や靴下の着脱、靴を靴箱から出して履く・脱ぐ、靴箱にしまう等、さまざまな場面で「自分でやってみよう」とする姿が見られるようになってきました。子どもの意欲を大切にしていきたいので、着脱しやすい服、履きやすい靴の準備をお願いいたします。

雨が降っても・・・

雨の降った日は室内やホールで身体を動かして遊んでいます。保育室では音楽を流して、リズム体操やマルチパーツを繋げて、運動遊びを行っています。ホールではボール遊びやマットで段差を付けて昇降運動をしたり、山やトンネルを作って肢体運動をしたりし、身体を動かしています。体力も付き、身体が発達し1人で階段の昇り降りや両足ジャンプが少しずつ出来るようになってきました。雨の日でも子どもたちの発達に合わせた身体を動かす遊びを沢山取り入れていきたいと思えます。

お願い

暑い日が多くなってきました。気温に合わせて調節できるように、引き出しの中には、長袖・半袖の両方を入れておいてください。保育園では、汗をかいた時にはこまめに着替えを行いますので、多めに着替えをご用意しておいていただければと思います。

最近、名前の書いてない服やスタイがあります。洗濯で薄くなってしまっていることもありますので、再度確認していただき、しっかりとわかるように記名をお願いいたします。

